

Audi Top Service

アウディをもっと楽しむために

純正パーツ&アクセサリ

正規ディーラー サービスクオリティ

Audi Twin Cup 2014 Japan Final



Motor
Magazine

安心感は延長できる。



Audi Freeway Plus.

アウディをご購入いただいてから3年間無料のメンテナンスプログラムを、有償にてさらに2年間延長できるサービス、それが「Audi Freeway Plus.」。アウディ独自の厳しい安全基準と最新技術に基づくメンテナンスを継続して受けられるため、いつもベストコンディションでドライビングが楽しめます。アウディで、走り続けるひとへ。
詳しくは、audi.co.jp/fwplus

Audi Freeway Plus. 発売記念 ナビゲーションアップデートプレゼント

初回車検時にAudi Freeway Plus.にご加入いただいた方へ、ナビゲーションソフトウェアのアップデートをプレゼント。(対象期間:2014年7月1日(火)~12月末日まで)
詳しくは、audi.co.jp/fwpluscpn

Audi
Top Service





Audi Top Service

Contents



05

車内の空気環境をよりクリーンに快適に

エアコンクリーニング／ポーレンフィルター
／プレミアムスポーツフロアマット／エアピュリファイア

07

Audiが自信を持って標準採用する純正タイヤ

純正タイヤ

09

技術と設備、そしてノウハウを持った正規ディーラー

スキー＆ラゲッジボックス／ルーフボックスバッグ

11

専用に開発された純正ウインターホイール

ウインターホイール／スノーブレード／ホイールクリーナー

12

大好きなペットと一緒に楽しむ快適なドライブ

セーフティドッグハーネス／ペットプロテクトカバー／マルチパーパスキャリア
／ラゲッジコンパートメントディバイダー／コンフォートプラスフロアマット

13

Audi純正アクセサリ 紹介アイテム

エアピュリファイア／コンフォートプラスフロアマット／ラゲッジコンパートメントディバイダー
ペットプロテクトカバー／プレミアムスポーツフロアマット／ルーフボックスバッグ
セーフティドッグハーネス／スキー＆ラゲッジボックス／スノーブレード／ホイールクリーナー

14

Audi Twin Cup 2014 Japan Final

ジャパンファイナル レポート

※本冊子掲載の記事・広告はMotor Magazine各号で掲載されました。
P.2 / 2014年8月号、P.4 / 2014年6月号、P.5 / 2014年5月号、P.6 / 2014年7月号、P.7 / 2014年9月号、P.8 / 2014年4月号、
P.9 / 2015年1月号、P.10 / 2014年12月号、P.11 / 2014年11月号、P.12 / 2015年2月号、P.14～15 / 2014年12月号

自動車づくりのこだわりは、
自動車以外に使われるべきです。



Audi collection

Audi collectionは、そのデザインや素材において、アウディの自動車づくりと同じこだわりをもって生まれてきたアイテムたちのこと。時計やサングラス、財布やバッグなどのレザー用品、ゴルフ用品、ミニカー、子供服まで。大人だけでなく子供たちもアウディへの愛着を深めていける、そんな“もうひとつのアウディ”を、お客様の目でお確かめください。

audi.co.jp/audicollection

Audi
collection



Audi Top Service

Audi純正パーツ&アクセサリ-01

文：河原良雄／写真：盛長幸夫

花粉、ホコリ、臭い、PM2.5などなにかと空気の汚れが気になる季節がやってきた。そこで今回は、Audiが提案する快適な車内空間実現のためのメニューを紹介しよう。

待ちに待った春到来。だが、困ることもある。気温の上昇に伴って、花粉やホコリ、黄砂、さらにはPM2.5といった物質の飛来だ。これはドアを開ければ車内に舞い込み、また服に付着して持ち込まれたりする。これをなんとかしようと、アウディはクリーンで快適な車内空間を実現するために積極的な取り組みを展開している。

まずはエアコンのクリーニング。これは専用の溶剤と治具を用いて車内奥にあるエバポレーター（熱交換器）を洗浄するものだが、作業は汚れの除去や乾燥も含めトータルで1時間ほどだから、シヨールームでお茶を飲ん

でいるうちに完了する。喫煙オーナーが所有するアウディ A6の作業に実際に立ち会ったが、クリーニング後は見事なまでに臭いが消え、エアコンのルーバーからは爽やかな風が吹き出していた。

エアコンクリーニング後は是非ダスト・ポレンフィルターも交換したい。グローブボックス裏のフィルターを脱着するだけで作業は短時間で済む。アウディ A6のフィルターはPM2.5に対応するだけでなく、より小さいPM1.0、さらにはPM0.1をも除去。これでエアコンクリーニングの効果がさらに増す。

快適な車内環境実現でもアウディは一步先を行く

車内の空気洗浄という点で、いま注目されているのがプレミアムスポーツフロアマット。これはアレルクヤッチャー®という人工酵素を織り込んだ素材を使用したフロアマットで、臭いを軽減する消臭効果、雑菌の繁殖を抑制する抗菌防臭効果、さらに花粉やダニなどを吸着する抗アレルギー効果もあるという。

アレルクヤッチャー®はマスクや掃除機のフィルター、アトピー用肌着や介護用品などに採用されその効果は実証済みだが、クルマのフロアマットとして使うのは斬新なアイデアだ（日本アトピー協会推薦マークも取得）。またプレミアムスポーツフロアマットとして、毛足の長いカーペットにアルミプレートとカーボンをあしらったスポーティな仕立てとなっているのも魅力だ。



エアコンクリーニングの作業。スプレーガンとノズルで溶剤を吹きエバポレーターの汚れを落とす。22,000円から27,000円。

フォーリングスをあしらった空気清浄器、アウディ エアピュリファイアも用意している。プレハハバハサという3層フィルターを備え、PM2.5や花粉を99%除去（中国上海にある公的調査機関によるデータ）。コンパクト設計ながら強力なモーターを搭載することで、約30分で周囲1mの空気を洗浄する能力を持っている。もちろんマジックテープやベルトを付属しているので、アームレストや荷室などにすっきりとセットすることができる。

アウディではこのほかにも、高濃度イオンを発生させて臭いを除去するプラスマクラストアプレミアムイオン発生器や好みの香りが楽しめるアロマドライブディフューザーもラインナップ。エアピュリファイアとの相乗効果で、より快適な車内空間を作り出す。

きれいな好きなオーナーが多いアウディだけに、快適な車内環境実現という点でも一步先を行っている。

Audi Air Purifier

アウディ エアピュリファイア 16,200円

コンパクトな設計と高い静粛性 花粉やホコリ、臭いまでも除去

花粉やホコリ、PM2.5、さらには臭いまで除去する自動車用空気清浄器。家庭用として使われる3層フィルターを採用、強力なモーターを搭載して高い清浄能力を誇る。216×170×60mmのコンパクト設計で、マジックテープとベルト2本を付属する。強弱2モードを選択可能で、2時間タイマーが内蔵されている。シガーライター12V電源を使用。



Audi Premium Sport Floor Mat

アウディ プレミアム スポーツフロアマット 86,400円～(1台分)

花粉やダニのアレル物質を吸着 雑菌の増殖を抑える素材を使用

抗菌+消臭+抗アレル物質+抗ウイルスの機能を持つ人工酵素を配合したアレルクヤッチャーを付与したフロアマット。日本アトピー協会推薦品マークも取得<S1304703A>。ナイロン製で耐摩耗性にも優れる。リアルカーボンとアルミニウム製エンブレムもポイントで、インテリアを彩るだけでなく、車内をクリーンに保つ優れものだ。





私のアウディは、あなたのアウディとちがう。

Audi Genuine Accessories[®]

あなたのアウディを、もっと自分らしく、機能的に完成させる。充実したラインナップの純正アクセサリ、Audi Genuine Accessories[®]自動車開発プロセスの一部としてつくられたアクセサリだから、デザイン、機能、品質、そして安全性にいたるまで、すべてにおいて最適。あなただけの一台へとカスタマイズできます。

※写真は一部、日本仕様と異なる場合があります。

audi.co.jp/accessories

Audi
Genuine Accessories



Audi Top Service

Audi純正パーツ&アクセサリ-02

文：河原良雄／写真：小平 寛

Audiに標準装着されるすべてのタイヤには「AO」というラベルが入っている。これにはどんな意味があるのか。今回は、Audiの純正タイヤに対する考え方を紹介しよう。

アウディに乗ると、大きな安心感に包まれる。それはエンジン、トランスミッション、シャシなどあらゆる部分が高いレベルでバランスし、街中から高速までイメージどおりの走りを体感できるからだろう。

では、それはどうやって生み出されるのか。ここで注目されるのがアウディのクルマ作りの姿勢だ。ユーザーの信頼に応え、快適で安全な走りを実現するために、あらゆるパーツが厳格な基準に沿って精緻に開発

されているのだ。たとえば、タイヤはどんな条件下でもしっかりと路面をグリップしてクルマが持つ性能を発揮し、

安全に走行できなければならない。

そこでアウディは独自の厳しい評価試験を設け、これをクリアしたもののだけを純正採用している。また、ニューモデルの開発と並行して、主要なタイヤメーカーと共同で各モデルに装着するタイヤの開発作業を進めており、純正採用されたタイヤにはそのモデルに特化した技術仕様が盛り込まれているのもポイントだ。

つまり、アウディの純正タイヤは、クルマの性能に合致したタイヤであるということ。アウディに標準装備されるすべてのタイヤのサイドウォールには「AO」ラベルが入っているが、これはアウディがその性能と品質を証明するものなのだ。

単に価格やイメージだけでタイヤを選ぶべきではない

このアウディの評価試験は厳格であるのはもちろんのこと、その試験項目は最大50項目にも及ぶという。

たとえばドライビングダイナミクスについては、アウディの熟練のテストドライバーが様々な条件下で走り込み、走行安定性やステアリングレスポンス、騒音、乗り心地などを細かく評価する。さらにFFモデルとクワトロモデルでテストする。もちろん最新の試験機器で詳細なデータをとるが、重要なのはテストドライバーの感性による評価だという。タイヤの安全性を語る上で重要な項目として、新品状態から摩耗限度までのサービスマイルをとおしての



Audi純正タイヤであることを示す「AO」ラベル。クワトロ社が開発を手がけるRSモデルにはクワトロ社が認証したことを示す「RO」ラベルが入る。

安定した性能があげられる。ここでは、規定の摩耗状態で性能を発揮できるかが、重要な判断基準となる。

当然、ウェット性能や転がり抵抗性能も試験項目になっている。燃費性能が重要視される昨今、ドライビングダイナミクスを高い次元で実現しながら、転がり抵抗も厳しくテストされるのだ。もちろん、ウインタータイヤやオールシーズンタイヤはこれらの試験に加え、積雪路における加速/制動テストなども行われる。「AO」ラベルはこうした様々な試験をすべてクリアしたタイヤであることを証明するものだ。

タイヤの交換はサイズさえ合えば可能だが、単に価格やイメージだけで選ぶべきではないことはわかっていただけただろうか。アウディにジャストフィットする性能を持つのが純正タイヤである。アウディ本来の性能を発揮させようと考えてるのであれば、やはり純正タイヤがベストということになる。なお、アウディの純正タイヤはアウディ正規ディーラーで購入することができる。

ルマン24時間耐久レース5連覇達成、それを支えたAudi専用開発の高性能タイヤ

今年、Audiはルマン24時間耐久レース5連覇(通算13勝目)の偉業を成し遂げた。その勝利にタイヤが大きく関わっていた。極めて過酷なルマンでクルマの性能を存分に発揮するためには、長時間グリップ性能を維持するタイヤが必要となってくる。そこでAudiはR18 e-tron quattroの開発と並行してタイヤメーカーと共同でタイヤの開発も行い、最適なタイヤを用意

したのだ。そしてルマン優勝のわずか1週間後、ニュルブルクリンク24時間耐久レースでもAudiは見事な勝利を飾っている。カスタマーによるGTカーレースとなるニュルブルクリンク24時間で、Audi R8 LMS ultraが総合優勝、TT RSがクラス優勝を獲得したのだ。これこそタイヤの性能を使いこなすレース経験と市販車開発の技術力が生かされた勝利と言ってい



ルマン5連覇を達成したAudi。装着されたタイヤはこのクルマ専用開発されたものだ。



ニュルブルクリンク24時間で総合優勝を飾ったフェニックスレーシングのAudi R8 LMS ultra。

"最新"マップで、"最適"ルートをご案内。



Audi Navigation Software 2014

2014年度版ナビゲーションソフトには、最新の道路地図情報を収録。新規開通した道路や交通規制などを検索結果に反映し、より最適なルートで目的地へとご案内します。検索やドライブのときに役立つ多彩な情報が満載です。ナビソフト更新で、Audiと走る毎日をさらに快適に。

Navi更新の3つのメリット

- 1 最新、最短の検索ルート案内。**
新しい道路情報を収録しているので、最適なルート案内を行います。
- 2 最新の施設表示で正確な検索。**
新しくできたお店や変更された施設名称等を収録しているので、目的地設定が快適になります。
- 3 市町村合併などにも対応。**
市町村合併後の地名情報を収録しているので、より正確な検索を行います。

Audi Top Service

Audi純正パーツ&アクセサリ-03

文：河原良雄／写真：玉井 充

ウインターホイールを装着する際は、ぜひ信頼できる場所で作業を行って欲しい。なかでも、やはり設備が整い、優秀なメカニックが揃う、アウディ正規ディーラーがベストだろう。

アウディオオーナーは、クルマの冬支度に余念がないに違いない。雪道に強いクワトロならなおさらだろう。冬でもアクティブにドライブを楽しむことができるのがアウディなのだ。前回はそのような人のために純正ウインターホイールを紹介した。アウディ純正ウインターホイールはインチャダウンが推奨されている。これは、組み付けるタイヤの幅を狭め扁平率を上げることにより、接地面の圧力を高めて大きなグリップを獲得するというもの。インチャダウン

すると雪道などでの抵抗が減って走りやすくなるばかりでなく、バネ下重量が軽

くなることによって走行安定性が高まり、結果として、雪道ならではの繊細なハンドリングにも十分対応できるようになるのである。

ドイツ本国に準じた、こうしたウインターホイール思想を正規ディーラーのメカニックは熟知している。タイヤの性能をフルに発揮できるように常に心がけているのだ。

アウディ車を知り尽くした正規ディーラーだからできる

好みのアウディ純正ウインターホイールをセレクトし、それにウインタータイヤを組み付ける際は、アウディ車を隅々まで熟知している正規ディーラーに任せるのがベストだ。その理由は、アウディ車に合わせたタイヤ交換の設備が充実していること、そして優秀なメカニックが揃っていることにある。

まず、大径タイヤにも対応した高性能タイヤチェーンジャー。ホイールのリムをキズつけず、かつキッチリ組み付けるためには機械は言うに及ばず、手慣れたメカニックの丁寧な作業が求められる。

加えて、最新のオンザカーを想定したホイールバランスサー。これは300kgもの荷重を掛けながら回転させてセッティングするというもので、走行状態に近い状態でバランス取りをすることができる。一般的な単体でのバランス取りはクルマに装着すると荷重によって微妙に変化してしまう。それを防ぐべくしっかりと対処しているのだ。

このホイールバランスサーはレ



荷重を掛けながら適正なバランスウエイトを測定するホイールバランスサー。赤い線がレーザー照射。どこにどれだけのウエイトをつけるか示してくれる。

ザー照射で適正なバランスウエイトを瞬時に判断。4本セットまでも加味してくれ、組み付けたタイヤがいかまでも画面で知らせてくれる。気持ち良くアウディ車を走らせるためには欠かせない設備である。

最後の仕上げはタイヤ&ホイールのハブへの装着だ。ボルトで対角線状に締め付けるのはクルマ好きならご存知だろう。しかし、きつく締めれば良いというものではなく、適正なトルクが求められるのは意外に知られていない。アウディでは通常120Nm、Q5は140Nm、重量級のQ7は160Nmなど細かく規定値が設定されているのだ。

簡単に見えるタイヤの組み付けだが、アウディ車の真の性能を十分に発揮し、快適なドライブを楽しむためにとても重要な作業であり、ドイツのAudi AGが認定する資格を持った優秀なメカニックが揃う正規ディーラーでこそ完璧に行える作業でもある。たかがタイヤ&ホイール、されどタイヤ&ホイールなのである。

技術と設備、そしてノウハウを持った正規ディーラー

Audi Roof Box Bag

アウディ ルーフボックスバッグ S:7,500円/M:9,500円/L:10,500円

ルーフボックスとあわせて開発なかで荷物が動きにくい設計

右に紹介しているスキー&ラゲッジボックスに収まるように設計されたルーフボックスバッグ。専用設計なので荷物が動きにくいのがポイント。サイズはS(43ℓ)、M(76ℓ)、L(82ℓ)の3タイプ。もちろん、通常のバッグとして使用することも可能で、使用シーンに合わせて選択できる。長い旅行などの際、荷物をまとめるのにも便利。アウディのロゴマーク入り。



Audi Ski & Luggage Box

アウディ スキー&ラゲッジボックス 120,000円

405ℓというたっぷりとした容量ふたり分のスキー板を収納可能

ウインタードライブをアクティブに楽しむ人にお薦めのルーフボックス。スキーやブーツ、ストックを収納できる。空力を考慮したフラットでスポーティなデザインがアウディらしい。長さ2050×幅800×高さ380mmで、75kgまで積載可能。両開き構造で、オールシーズン使える。別途ルーフバーが必要となるが、クイックマウントシステムで簡単に装着できる。





アウディにも
冬仕度を。



Audi Winter Genuine Accessories

アウディドライバーの楽しみのひとつ。

それは、冬に向けて、豊富に取りそろえたアウディ純正アクセサリでカスタマイズすること。
デザイン性と機能性を両立したアクセサリが、冬を待ちきれないあなたの心を駆り立てます。

※写真は一部、日本仕様と異なる場合があります。

audi.co.jp/accessories

Audi
Top Service



Audi Top Service

Audi純正パーツ&アクセサリ-04

文：河原良雄／写真：玉井 充

冬場にウインタータイヤを装着する人が増える中、今、ウインターホイールが注目を集めている。過酷な条件にあわせて開発された専用ホイールには、大きな効果が期待できる。

秋風が吹いて来ると、そろそろウインタータイヤに交換しないと、と考えるユーザーも多いことだろう。そんな時、アウディの純正ウインターホイールという選択肢があることを是非知っておいて欲しい。

アウディの本拠地であるドイツの冬は寒い。冬のアウトバーンは凍結することが多く、多量の融雪剤が撒かれる。しかし、この融雪剤、とくに塩分はクルマにとって大敵である。ホイールやブレーキは言うに及ばず、ボディにも錆を誘発するほどである。それゆえ、

そんな過酷な状況下でも使えるアルミホイールは冬の必需品でもある。それに対するアウディの回答

が純正のウインターホイールである。純正指定しているだけに、ドイツの第三者検査機関であるTUVの基準はもちろんのこと、極めて厳しいとされる社内基準もクリアしている。

アウディがとくに重視しているのが融雪剤に対して強い仕様であることだ。それは強固な塗装皮膜で仕上げられていることでもわかる。リム内側までしっかりと塗装されているのだ。

さらにはデザイン面でもアウディらしい工夫が凝らされている。融雪剤がブレーキ部に極力かからないようディスク部がデザインされているのだ。たとえば、スポーク部に凹みを設けて空気がよって融雪剤を吹き飛ばし、内側のブレーキを保護するということのように。

ウインタータイヤ装着の際にアウディはインチャダウンを推奨

アウディでは、ドイツ本国同様、ウインタータイヤを履く際にインチャダウンを薦めている。「えっ」と思われる方も多いかもしれないが、これには理由がある。

インチャダウンとはタイヤ幅を細くして扁平率を上げることで外径を変えないというもの。接地面積を小さくすることで接地面の圧力が高くなり、雪道などではグリップは増すこととなる。加えて扁平率が上がることで荒れた路面での快適性も向上し、結果として安全運転にも繋がる



耐久性や強度など、Audiの厳格な基準のもと品質テストが行われている。積層塗装により優れた耐候性も実現。

のだ。雪道を熟知しているからこそ、アウディ哲学がここにある。

インチャダウンの例を挙げると、アウディA4 2.0 TFSIの場合、標準サイズは225/50R17から、扁平率の高い215/60R16に変更するといった具合だ。

ウインターホイールはインチャダウンしても走行性能に変化が生じないように設計されている。リム幅やインセットを適正とするだけでなく、ブレーキとのクリアランスをしつかりと確保し、ウインターホイールに履き替えても、変わらぬアウディならではのハンドリングを楽しむことができる。

現在用意されているウインターホイールのデザインは18種類ほどで、5本スポークを中心にシンプルなものが多いが、これにも理由がある。雪道や凍結した道路を走行するとうしてもホイールは汚れがちとなるのでクリーニングしやすいようにシンプルでデザインとしているのだ。

近年大雪のニュースを耳にすることが多くなっている。アウディ純正ウインターホイールを履いて、この冬もアクティブにドライブを楽しんでいただきたい。

Audi Wheel Cleaner

アウディ ホイールクリーナー 2,268円

汚れがちな冬場のホイールをシュッとひと吹きできれいに

溶け出した雪や融雪剤、ブレーキダストなどで、冬のホイールはとかく汚れがち。そこで必要となるのが、このホイールクリーナー。ホイール全体に均一にシュッとひと吹きして2分ほど待ち、鉄粉などが赤く浮き上がってきたら一気に水で洗い流し、スポンジなどで拭き取れば完了という手軽さも寒い冬は魅力。頑固な汚れにはブラシなどを使うとより効果的だ。



Audi Snow Blade

アウディ スノーブレード 8,100円～

雪や凍結への対策が施された専用ブレードが威力を発揮

ワイパーブレードは温度変化の影響を受けやすく、雪や凍結により拭き取り性能が落ちる。とくに日本の雪は水分が多く重く、雪や凍結に対応したスノーブレードは冬の必須アイテムとなる。雪のかき出しのしやすさ、払拭後のウインドウの雪の積もり具合などを緻密に計算して専用設計されているのもポイント。クリップ部も専用設計で、脱着も簡単。



Audi Top Service

Audi純正パーツ&アクセサリ-05

文：河原良雄／写真：井上雅行

愛犬と一緒にドライブを楽しむ人が増えている中、アウディ純正アクセサリとして愛犬用アイテムが順次設定され、注目を集めている。今回はそんな中から、いくつか紹介しよう。

最近、高速道路のサービスイリアなどで愛犬と散歩しながら休憩している光景をよく見かける。リードをはずして自由に運動させることができるドッグランの施設を設けたサービスイリアも増えてきている。なかにはペットショップを併設しているところまである。愛犬はもはや家族と同じ、一緒にドライブを楽しみたいという人が増えてきているということだろう。

今回紹介するアイテムはいずれもドイツ本国でアウディ純正アクセサリとして用意されたものだ。まずはセーフティドッグハーネス。ハーネス

とは愛犬用胴輪のことで、このアイテムはいわば愛犬用シートベルトともいべきもの。ハーネスを身体に装着して、それを後席用のシートベルトにつなげることで、万が一の事故などから愛犬を守る。背中に備わるフックは前後にふたつあり、車内では安全面から後方のものを使い、車外で散歩するときはリードを前方のフックに装着するという優れものだ。また、ハーネスタイプなので首輪よりストレスが少ないというメリットもある。

サイズはS、M、L、XLの4タイプが用意され、Sは体重12kgまで、MからXLは23kgまで、万が一の際に愛犬の身体を支えることができる。もちろんドイツ規格TUVの認定済みだから安心して使える。

安心して快適に過ごせる室内空間を作ってあげよう

大好きなペットと一緒に楽しむ 快適なドライブ

セーフティドッグハーネス。S:16,200円～。

ペットプロテクトカバーも注目のアイテム。前後シートのヘッドレストをフックとしてハンモックのように仕立てて、内側を丈夫でソフトな素材としている。これはセーフティドッグハーネスとの併用を想定したもので、ハーネスを通すホールが設けられている。深さは60cmほどあり、サイドにはファスナーが用意されているので出入りしやすい設計となっている。さらにはセンターのファスナーで2分割することもでき、隣に一緒に座ることもできる。

もうひとつ、マルチパーパスキャリアを紹介したい。これはリアシート片側のハンモック風ケージで、前後シートのヘッドレストのステーにかける約60×60cmの簡易ボックスのようなもの。深さは40cmほど。コーナーファスナー付きなので愛犬も出入りしやすく、ネットポケットに小物を収納できる。さらに未使用時にはロールして前席シート背面に収納できるから、車内に常備することも可能。レジャー用品やおモチャなどの入れ物としても活用できる。

Audi Luggage Compartment Divider

アウディ ラゲッジコンパートメント ディバイダー 3,780円

荷室内の荷物をスッキリ整理し 走行中に動かないように固定

荷室内で荷物が動かないように固定する仕切板。がっちりとした作りで、裏がマジックテープになっている。長さは約1m。自由に曲げることができるフレキシブルな構造で、荷物にあわせて角度を変えることによってしっかりと固定する。とくにボックス形状の荷物のフックに効果を発揮しそうだ。荷物をすっきりと整理することができる。走行中も散乱しない。



Audi Comfort Plus Floor Mat

アウディ コンフォートプラス フロアマット 34,560円～(フロント/リア)

人気の高品質フロアマットに A1/A3/A5用が新たに登場

パイルを基布に縫い込み刺繍方式タフテッド製法による上質な仕上げ、アウディの厳しい基準をクリアした高い耐久性が特徴のフロアマット。ヒールポジションは毛足をわずかに短くすることで、ペダル操作をスムーズにするなど機能性もよく考えられている。デザインはアウディらしいブラック色のシンプルなもの。A4/A6用に続き、A1/A3/A5用も登場。



マルチパーパスキャリア。愛犬とのお出かけの時や、レジャー用品の収納などに便利なアイテム。コンパクトに畳んでおくこともできる。17,280円。



ペットプロテクトカバー。セーフティドッグハーネスと併用することで、愛犬にとってより安全で快適な環境を作り出す。素材には丈夫な生地を使用。21,600円。

Audi純正アクセサリ紹介アイテム

Audi Air Purifier

アウディ エア ピュリファイア 16,200円

コンパクトな設計と高い静粛性 花粉やホコリ、臭いまでも除去

花粉やホコリ、PM2.5、さらには臭いまでも除去する自動車用空気清浄器。家庭用として使われる3層フィルターを採用、強力なモーターを搭載して高い清浄能力を誇る。216×170×60mmのコンパクト設計で、マジックテープとベルト2本を付属する。強弱2モードを選択可能で、2時間タイマーが内蔵されている。シガーライター 12V電源を使用。



Audi Comfort Plus Floor Mat

アウディ コンフォートプラス フロアマット 34,560円～(フロント/リア)

A1/A3/A4/A5/A6用に 設計された高品質フロアマット

パイルを基布に縫い込む刺繍方式タフテッド製法による上質な仕上がり、アウディの厳しい基準をクリアした高い耐久性が特徴のフロアマット。ヒールポジションは毛足をわずかに短くすることで、ペダル操作をスムーズにするなど機能性もよく考えられている。デザインはアウディらしいブラック色のシンプルなもの。それぞれのモデル名を示すロゴが入る。



Audi Luggage Compartment Divider

アウディ ラゲッジコンパートメント ディバイダー 3,780円

荷室内の荷物をスッキリ整理し 走行中に動かないように固定

荷室内で荷物が動かないように固定する仕切板。がっちりとした作りで、裏がマジックテープになっている。長さは約1m。自由に曲げることができるフレキシブルな構造で、荷物にあわせて角度を変えることによってしっかりと固定。とくにボックス形状の荷物のフィックスに効果を発揮しそうだ。荷物をすっきりと整頓することができ、走行中も散乱しない。



Audi Pet Protect Cover

アウディ ペット プロテクトカバー 21,600円

愛犬の思わぬ動きにも対応する ケージ形状で安全安心ドライブ

前後シートのヘッドレストをフックとしてハンモック風ケージに仕立てるカバー。内側は丈夫な素材としているので耐久性も高い。セーフティドッグハーネスとの併用を想定してハーネスを通すホールを設定。深さは約60cmでサイドにはファスナーがあるため出入りは楽。センターのファスナーで2分割可能で、隣で愛犬と対話することもできるのが嬉しい。



Audi Premium Sport Floor Mat

アウディ プレミアム スポーツフロアマット 86,400円～(1台分)

花粉やダニのアレル物質を吸着 雑菌の増殖を抑える素材を使用

抗菌+消臭+抗アレル物質+抗ウイルスの機能を持つ人工酵素を配合したアレルキャッチャーを付与したフロアマット。日本アトピー協会推薦品マークも取得<S1304703A>。ナイロン製で耐磨耗性にも優れる。リアルカーボンとアルミニウム製エンブレムもポイントで、インテリアを彩るだけでなく、車内をクリーンに保つ優れものだ。



Audi Roof Box Bag

アウディ ルーフボックスバッグ S:7,500円/M:9,500円/L:10,500円

ルーフボックスとあわせて開発 なかで荷物が動きにくい設計

下段で紹介しているスキー&ラゲッジボックスに収まるように設計されたルーフボックスバッグ。専用設計なので荷物が動きにくいのがポイント。サイズはS(43ℓ)、M(76ℓ)、L(82ℓ)の3タイプ。もちろん、通常のバッグとして使用することも可能で、使用シーンに合わせて選択できる。長い旅行などの際、荷物をまとめるのにも便利。アウディのロゴマーク入り。



Audi Safety Dog Harness

アウディ セーフティドッグハーネス 16,200円～

セーフティドライブのためには 愛犬にもシートベルトは必須

首輪よりストレスが少ないと言う愛犬用の胴輪&ハーネス。シートベルトと繋げることで万が一の事故の際にも愛犬を守ってくれる。背中にはフックが前後ふたつあり後方が車内用、前方は散歩時のリード装着用。サイズはS、M、L、XLの4タイプで、Sが体重12kgまで、M～XLが23kgまでできる設計とする。ドイツ規格であるTUVの認定取得。



Audi Ski & Luggage Box

アウディ スキー&ラゲッジボックス 120,000円

450ℓというたっぷりとした容量 ふたり分のスキー板を収納可能

ウィンタードライブをアクティブに楽しむ人にも薦めるルーフボックス。スキーやブーツ、ストックを収納できる。空力を考慮したフラットでスポーティなデザインがアウディらしい。長さ2320×幅685×高さ400mmで、重量は26kg。両開き構造で、オールシーズン使える。別途ルーフバーが必要となるが、クイックマウントシステムで簡単に装着できる



Audi Snow Blade

アウディ スノーブレード 8,100円～

雪や凍結への対策が施された 専用ブレードが威力を発揮

ワイパーブレードは温度変化の影響を受けやすく、雪や凍結により拭き取り性能が落ちる。とくに日本の雪は水分が多く重く、雪や凍結に対応したスノーブレードは冬の必須アイテムとなる。雪のかき出しのしやすさ、拭き後のウインドウの雪の積り具合などを緻密に計算して専用設計されているのもポイント。クリップ部も専用設計で、脱着も簡単。



Audi Wheel Cleaner

アウディ ホイールクリーナー 2,268円

汚れがちな冬場のホイールを シュッとひと吹きできれいに

溶け出した雪や融雪剤、ブレーキダストなどで、冬のホイールはとくに汚れがち。そこで必要となるのが、このホイールクリーナー。ホイール全体に均一にシュッとひと吹きして2分ほど待ち、鉄粉などが赤く浮き上がってきたら一気に水で洗い流し、スポンジなどで拭き取れば完了という手軽さも寒い冬は魅力。頑固な汚れにはブラシなどを使うより効果的だ。





アウディ ツインカップ 2014

Audi Twin Cup 2014 Japan Final カスタマーに最高の満足を

アウディ 正規ディーラーのサービス技能コンテストとして毎年開催される「アウディ ツインカップ」。
10月3日、その日本のファイナルとなる2014年の決勝大会が東京・お台場のホテルで行われた。

文：河原良雄／写真：永元秀和



1 サービス部門はオーナーから車両を預かる際のコミュニケーションスキルと車両の正確な診断技術を競う。接客スキルだけでなく、オーナーからのリクエストや質問に応える基本的な技術知識も求められる。2 テクノロジー部門はメカニックの整備技術を競うもの。持ち込まれた車両の不具合を的確に診断し、処置する能力が求められる。進化を続けるメカニズムへの対応もポイントとなる。



左より、アウディ ジャパン フランク・ハービック アフターセールス本部長、サービス部門で入賞した佐藤吉将さん(優勝)、西本智一さん(2位)、中田貴博さん(3位)。



テクノロジー部門で優勝を飾ったのは、「Audi みなとみらい」チームだった。増井洋介さん、本田秀男さん、磯部伸広さん(左より)の3名のチームワークが光った。

アウディ ツインカップ 2014 日本大会 審査結果

サービス部門	テクノロジー部門
1位 Audi 池袋 (佐藤吉将)	1位 Audi みなとみらい (増井洋介/本田秀男/磯部伸広)
2位 Audi 板付 (西本智一)	2位 Audi 江戸川 (小林浩二/加藤正行/浅野修一)
3位 Audi 宇都宮 (中田貴博)	3位 Audi 八王子 (中嶋英行/内藤顕之介/先崎和也)

アウディ ツインカップは世界各国で開催されているアウディのサービス技能コンテストで、「ツインカップ」とはサービス部門とテクノロジー部門のふたつが設けられていることに由来する。

今年のツインカップは、全国112の正規ディーラーから腕自慢のサービスアドバイザーとメカニックがエントリー。サービス部門は171名、テクノロジー部門は99チーム(3人一組)が参加して始まった。そして、5月のラウンド1、7月のラウンド2という、厳しい予選を経

て、サービスアドバイザー12名とメカニック12チームがファイナリストとして、今回のジャパンファイナルで鎗を削ることになった。

ジャパンファイナルは約60分の筆記試験、および実技試験の結果で勝敗を決するが、やはり注目は応援に来た会社の同僚の方が見守る中で行われる実技試験だ。

サービス部門の今回のテーマは「二年点検時の入庫受付」というものだった。アウディA6を使つての車両現状チェック、不具合箇所と原因の判定、車両の機能などオーナーからの依頼への対応、修理見積もりなどが試された。試験官がオーナー役となり、サービスアドバイザーが時間内にどこまで丁寧かつ的確に課題を遂行できるかをチェックする。

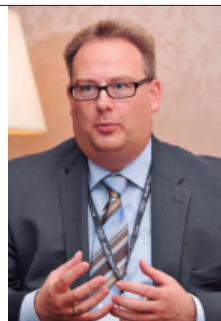
一方、テクノロジー部門は「セルモーターは回るがエンジンが始動しない」が大きなテーマ。こちらもA6で現象の確認、診断、処置、完成検査という手順を、メカニック3人がチーム一丸となって、時間内に正確にかつ迅速に処理できるかが問われる。そこには当然ながら簡単には処理できない難問がいくつ盛り込まれていて、約60分という制限時間はかなり厳しいものだった。

**サービス技術を高めることは
カスタマーデライトにつながる**

アウディ ツインカップの狙いは、サービス技能の研鑽にある。次々と登場するニューモデルや増加するオーナーへのきめ細やかな対応は、

「優れたメカニックやサービスアドバイザーを育成し、さらにお客様の満足度を上げていきます。」

アウディ ツインカップ開催の狙いはどこにあるのか。
このイベントのキーパーソンのひとつ、フォルクル氏にうかがった。



Dr.マーティン フォルクル
アウディ ジャパン
人事部長

2年前に来日し人材育成を担当。「アウディのメカニックには先進的で高度な技術が求められますが、若者にとって、とてもやりがいのある仕事です」と語る。

—アウディ ツインカップの開催の目的、意義はどういうものですか。

「アウディ ツインカップはサービス技術の向上を目的としたものですが、アウディの正規ディーラーで働くスタッフに『アウディにたずさわって良かった』と感じてもらいたいという目的もあります。そうしたことがアウディブランドを確立し、ひいてはお客様の満足度向上に繋がると確信しているからです。アウディは常に世界で最高の雇用者でありたいと願っているのです。今後、新店舗開設に加え、ニューモデルの登場やプラグインハイブリッド車 e-tron の展開などによって、サービス部門のさらなる強化が重要事項となってきます。そうしたことから、サービス技術の研鑽はアウディにとって大事なことなのです」

—フォルクルさんは日本でどのようなことをされているのですか。

「人材育成という面で、各ディーラーを支援したり、アドバイスしたりしています。日本に来て、メカニックのレベルは非常に高いのですが、サービスという仕事が油にまみれているイメージがあることには少し驚きました。ドイツではメカニックは若者にとって憧れの職業であり、希望者がとても多いのです。それだけに、メカニックの仕事がいかに先進的で、高度な技術を必要としているか、ぜひもっと知っていただきたいのです」

—アウディにはマイスター制度もありますか。

「ドイツのマイスター制度同様、これは優秀なスタッフであることを証明する制度です。マイスターを取得するには厳しいトレーニングや資格検

定が必要ですが、ツインカップへの挑戦とともに、このマイスター制度もサービス技能の向上につながっています」

—アウディ ツインカップは非常にレベルが高く、緊張感のあるイベントですが、もっと多くの人に知ってもらえるといいのではないですか。

「私もそう思います。そこで今回、専門学校のみならずこのイベントを見学してもらいました。アウディの先進技術に触れアウディで働くことが、いかに意義深いものであるかを体感してもらうためです。選手の真摯な作業からそれを少しでも感じとっていただければと考えたのです。もし、私が若者だったら Audi R8 や Audi RS 6 をはじめてとした、スポーティで魅力あるクルマを作っているアウディで働きたいと思うに違いありません」

ディーラーにとっては重要な項目である。オーナーと直接対応するサービスアドバイザー、整備や修理で車と直接向き合うメカニックが一体となってこそ、ブランドとしての信頼を得るポイントとなり、それが「アウディを選んで良かった」というカスタマーデライトにつながる。そうした業務に就いているスタッフにとっては、このツインカップで実績を挙げることは誇りであると同時に、オーナーからさらなる信頼を得ることに必要な。そしてそれがスタッフにとって「アウディで働いて良かった」と感じることもなるのだ。

また、世界各国で開催される国内大会での上位入賞者は、世界大会への出場権を手に入れることになるが、これがまた参加者を奮い立たせる。

今年7月にミュンヘンで開催された世界大会には、サービス部門で昨年2013年のジャパンファイナルで優勝した山田千晶さん（アウディ三重津）と2位の後藤樹人さん（アウディ月寒）と3位の岩佐武士さん（アウディ岡山）が日本代表チームを結成。テクノロジー部門では2013年のジャパンファイナルの優勝チームであるアウディ松本（猿田晃さん、郷津雄太さん、松尾寿英さん）が日本代表として参加。見事



Audi Twin Cup 2014 World Championship

2013年の各国内大会上位入賞者が参加して行われた「2014年世界大会」。そのサービス部門で日本代表チームが優勝、その技術の高さは世界から注目された。写真はその表彰式。なお、世界大会ではサービス部門とテクノロジー部門に加え、総合優勝も設けられている。



2014年世界大会サービス部門で見事に優勝した日本代表チーム。左から、岩佐武士さん（Audi 岡山）、山田千晶さん（Audi 三重津）、後藤樹人さん（Audi 月寒）。



2014年世界大会テクノロジー部門の日本代表はAudi 松本。左から郷津雄太さん、猿田晃さん、松尾寿英さん。部門優勝はならなかったが日本代表として貢献。

にサービス部門で優勝を飾った。残念ながらテクノロジー部門では優勝こそかなわなかったが、世界大会ではサービス部門とテクノロジー部門が助け合って作業する場面も想定されていて、サービス部門での優勝は日本代表としてひとつとって勝ち取った栄冠であった。

今年の世界大会を振り返って、チームとして戦った6名は「難しさはありましたが、協力しあって、チーム力で優勝することができました。アウディ ツインカップはすべての人にチャンスがあります。頑張れば世界舞台で戦えるのですから」と語る。さらに、アウディ松本の猿田晃さんは「A8のエアサスの修理と、先々代A6のデフのバックラッシュ解消という不慣れたテーマに苦戦しましたが、ツインカップで世界に挑

戦したことによって日々の業務に自信を持つことができるようになりました」と胸を張る。

さて、今年のジャパンファイナルはどうだったのか。注目のトップ3は前頁の表のとおりとなった。この結果、サービス部門はアウディ池袋の佐藤吉将さん、アウディ板付の西本智一さん、アウディ宇都宮の中田貴博さん、テクノロジー部門はアウディみなとみらいの磯部伸広さん、本田秀男さん、増井洋介さんが、来年開催される予定の世界大会に出場することになった。

2009年にテクノロジー部門で、2014年にはサービス部門で優勝を飾っている日本代表。世界的に見てもレベルが高いと言われる日本チームは次回の世界大会も優勝候補となりそうだ。

アウディ ジャパン 株式会社

東京都品川区北品川 4-7-35
御殿山トラストタワー 16階 〒140-0001

Free dial ▶ 0120-598106 AM 9:00 - PM 7:00

For info ▶ www.audi.co.jp

- 本冊子の記載内容は、2015年の1月現在のもので、予告なく変更する場合がございます。
- 外観・色については、撮影及び印刷条件により、実物と異なって見えることがあります。
- 当社の許可なく、本冊子の一部又は全部を複製、転写することを禁じます。
- 掲載車両および商品は一部日本仕様と異なる場合があります。